

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	文化学園長野保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
教育社会福祉専門課程	保育科	夜・通信	17単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://bga.gakuen-nagano.ac.jp/jyukensei/shien-seido/kamoku-ichiran/

○要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	文化学園長野保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://bga.gakuen-nagano.ac.jp/jyukensei/shien-seido/rizi-meibo/

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	学校法人理事長 大学学長	平成 30. 7. 1 ～令和 3. 6. 30	学校運営に関する 指導・助言
常勤	大学教授 大学学部長	令和 1. 10. 1 ～令和 3. 6. 30	学校運営に関する 指導・助言
常勤	前大学教授	平成 30. 7. 1 ～令和 3. 6. 30	授業運営に関する 指導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	文化学園長野保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>1. 各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程</p> <p>① 前年度 教育課程（カリキュラム）の見直し</p> <p>② 前年度12月 授業依頼</p> <p>③ 前年度2月 授業計画（シラバス）の提出</p> <p>④ 前年度3月 教授会にて承認</p> <p>⑤ 当年度4月 ホームページにて公表</p> <p>冊子にして該当者（学生・保護者）に配布</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/guide/syllabus/</p> <p>授業開始前の配布（年度当初4月）</p> <p>実務経験者の授業一覧</p> <p>https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/jyukensei/shien-seido/kamoku-ichiran/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第27条にしたがい履修した科目の単位認定を行う。</p> <p>年度末の教授会において単位認定の判定会議を実施。</p> <p>参考1</p> <p>(学習評価)</p> <p>第27条 履修した授業科目の単位認定は、試験等により行う。ただし、各科目の出席時間数が学則に定める時間数の3分の2に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。実習については、同じく5分の4に満たない者については履修の認定をしない。</p>	

- 2 試験等による評価・成績は、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）及び不可（59点以下）とし、不可の場合は単位不認定とする。
- 3 単位不認定となった科目については、本人の申請により追・再試験を行うことができる。
- 4 追・再試験に関する事項は、別に定める。

参考2

平均成績について

それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。

優 = 3点 良 = 2点 可 = 1点 不可 = 0点

各学生の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳正かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修する科目すべて（53科目）について成績評価をし、それぞれの評価について下記のように得点化し、全科目の合計点により成績の順位を算出する。

評価の得点について

それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。

優 = 3点 良 = 2点 可 = 1点 不可 = 0点

算出式 科目ごとの評価点 履修科目数 総得点
 (3 or 2 or 1 or 0点) × _____科目 = _____点

あらかじめ設定した指標により成績評価を適正に算出している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/jyukensei/shien-seido/seiseki-hyouka/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

下記の「教育方針」に従い本校で2年間幼児教育の専門分野を学ぶ

- 1 「共に生きる社会（共生社会）」を目指す、意欲ある完成豊かな保育者の育成
- 2 保育者としてふさわしい能力（こころ・知識・技術）をもつスペシャリストの育成
- 3 人間としての尊厳や社会のルール・マナーを大切にする保育者の育成

また、職業人としての資質向上を目指して次の1～6の項目を日常的に実践できるようになり、所定の単位（62単位）を修得した者を卒業と認定する。

- 1 明るく元気な挨拶（笑顔と思いやりのある言葉がけ）
- 2 自分を磨く清掃・奉仕活動（美化意識と奉仕の精神の滋養、整理整頓、率先して取り組むボランティア活動）
- 3 気働きの実践と振り返り（いつでも どこでも だれにでも）
- 4 全科目全授業出席の原則
（やむを得ない場合、欠課（欠席、公欠）届と課題の提出義務）
- 5 「遅刻」なしの授業（5分前行動・時間厳守）
- 6 朝のミーティング・当番活動と当番日誌・係活動の充実
（報告、連絡、相談、記録）

卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえて卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/jyukensei/shien-seido/sotsugyou-nintei/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	文化学園長野保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
収支計算書又は損益計算書	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
財産目録	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
事業報告書	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
監事による監査報告（書）	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	保育科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位時間/単位	37 単位時間/単位	40 単位時間/単位	13 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1 単位時間/単位
			2,385 時間			91 単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	51人	0人	10人	21人	31人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>授業計画（シラバス）の作成過程</p> <p>① 前年度 教育課程（カリキュラム）の見直し</p> <p>② 前年度 1 2 月 授業依頼</p> <p>③ 前年度 2 月 授業計画（シラバス）の提出</p> <p>④ 前年度 3 月 教授会にて承認</p> <p>⑤ 当年度 4 月 ホームページにて公表</p> <p style="padding-left: 40px;">冊子にして該当者（学生・保護者）に配布</p> <p>授業方法及び内容、年間の授業計画はシラバスに沿って実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>履修する科目すべて（53科目）について成績評価をし、それぞれの評価について下記のように得点化し、全科目の合計点により成績の順位を算出する。</p> <p>評価の得点について</p> <p>それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">優 = 3 点 良 = 2 点 可 = 1 点 不可 = 0 点</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>下記の「教育方針」に従い本校で2年間幼児教育の専門分野を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「共に生きる社会（共生社会）」を目指す、意欲ある完成豊かな保育者の育成 2 保育者としてふさわしい能力（こころ・知識・技術）をもつスペシャリストの育成 3 人間としての尊厳や社会のルール・マナーを大切にする保育者の育成 <p>また、職業人としての資質向上を目指して次の1～6の項目を日常的に実践できるようになり、所定の単位（62単位）を修得した者を卒業と認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 明るく元気な挨拶（笑顔と思いやりのある言葉がけ） 2 自分を磨く清掃・奉仕活動（美化意識と奉仕の精神の滋養、整理整頓、率先して取り組むボランティア活動） 3 気働きの実践と振り返り（いつでも どこでも だれにでも） 4 全科目全授業出席の原則 <p style="padding-left: 40px;">（やむを得ない場合、欠課（欠席、公欠）届と課題の提出義務）</p>

<p>5 「遅刻」なしの授業（5分前行動・時間厳守）</p> <p>6 朝のミーティング・当番活動と当番日誌・係活動の充実 （報告、連絡、相談、記録）</p>
学修支援等
<p>専任教員による個別の支援を実施</p> <p>https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/hogosya/support2/</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 （100%）	0人 （0%）	33人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 幼稚園・保育園・児童養護施設			
（就職指導内容） 求人票の開示 就職先希望を調査し、該当学生への事前指導など個別に対応			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭二種免許 保育士資格			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席等の状況を把握し、個別面談などを通じて学習意欲の高揚と維持に努める		